

「賛助会員の会」会長
(株)小坂研究所 小坂 伊一郎



昨年に引き続き 2024 年度「賛助会員の会」会長を拝命致しました(株)小坂研究所の小坂伊一郎でございます。2 期目に入りやっと要領を得た次第ですが、精一杯務めさせて頂きますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2024 年度に入り、過剰な円安の中、物価高騰等不安定な業況で先行き不透明な時代に入っております。しかし一方で、『SDGs』『EV シフト』『DX』『GX』『ことづくり』『脱炭素』等の産業変革期を表現する新しい言葉の定着が進み、技術革新やビジネスチャンスとしての国際的な機運の高まりに拍車を掛けております。

その様な中、日本の産業全体が更なる変革と大きな進化を求められ、よりいっそう世界からの熱い視線が注がれています。

さて、精密工学会は、90 年の歴史を持ち、日本の精密加工や計測産業を支える重要技術を扱う機関として、長く貢献してきました。そして今、まさに技術立国である日本の中核として当学会が担う責任は大きいものであると考えております。

賛助会員の会は、精密工学会の活動をしっかりと支え、産学官連携の柱の一つとして役割を果たして参ります。また、今後の産業発展を鑑みれば、これからの主役は何と言っても学生や若手技術者の皆様です。産学官連携の中心に、学生や若手技術者の皆様に位置づけ、精密工学の分野が夢や将来性のある先端技術産業に直結している事をより強く発信し、興味を持ち続けて頂けますよう尽力して参ります。

末筆ではございますが、賛助会員の会は、会員の皆様方あつての組織でございます。引き続きのご参加、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。